

平成24年12月

平成24年 10月 ~ 12月期 実績  
平成25年 1月 ~ 3月期 見通し

# 中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

# 目次

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 *平成15年1月以降	23

## [集計資料]

本調査結果について、東日本大震災の津波で壊滅的に被害のあった4商工会地区(陸前高田、大槌、山田町、野田村)の状況は、調査不能のため含まれておりませんので、予めご理解のうえ、ご覧下さい。

## D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いたものです。

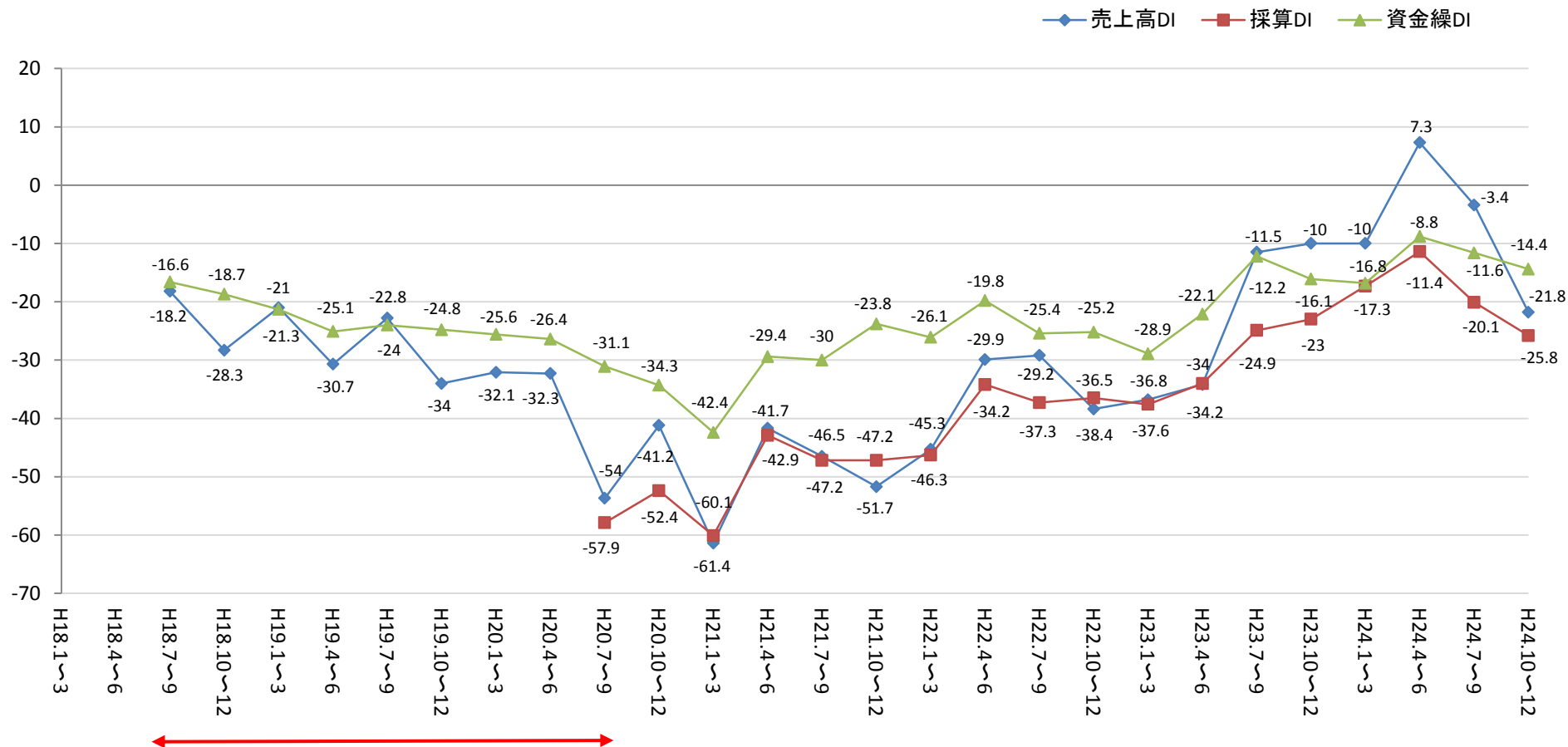
D・Iがプラスなら強気(楽観)、マイナスなら弱気(悲観)、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[ 岩手県 産業全体 ]

### 主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

# 業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成23年				平成24年				(見通し) 平成25年 1~3月
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
製 造 業	曇	薄曇	薄曇	薄曇	薄曇	薄曇	曇	雨	雨
建 設 業	雨	曇	薄曇	晴	晴	晴	薄曇	晴	薄曇
小 売 業	雨	雨	雨	雨	雨	薄曇	雨	雨	雨
サ ー ビ ス 業	曇	雨	曇	薄曇	曇	晴	曇	曇	曇

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	快晴	晴	薄曇	曇	雨

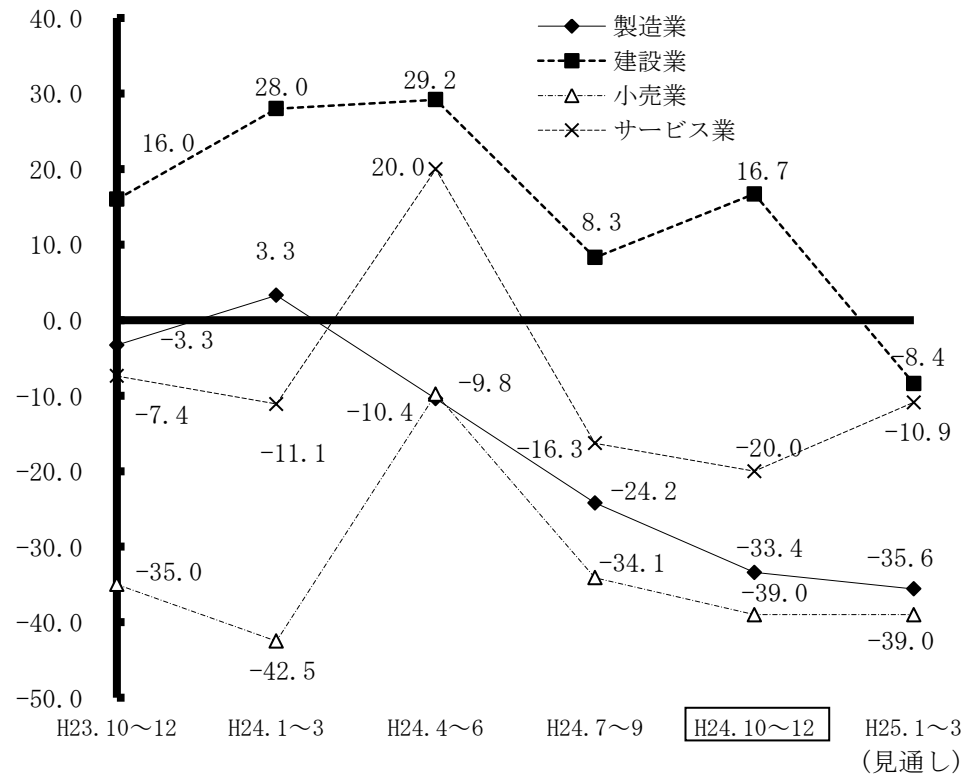
# 全産業の推移

## 売上高

今期は、前期に大幅にポイントを下げた建設業が昨年同期の水準に回復し、16.7と高い水準に持ち直しました。

しかし、他の業種では低下傾向が続き、製造業では9.2ポイント低下の△33.4となりましたが、低下傾向は収まりつつあります。

来期は、建設業及び製造業において、引き続きポイントの低下が予想され、特に建設業が25.1ポイント低下の△8.4とマイナスに転じると懸念されておりますが、サービス業においては回復する見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

# 全産業の推移

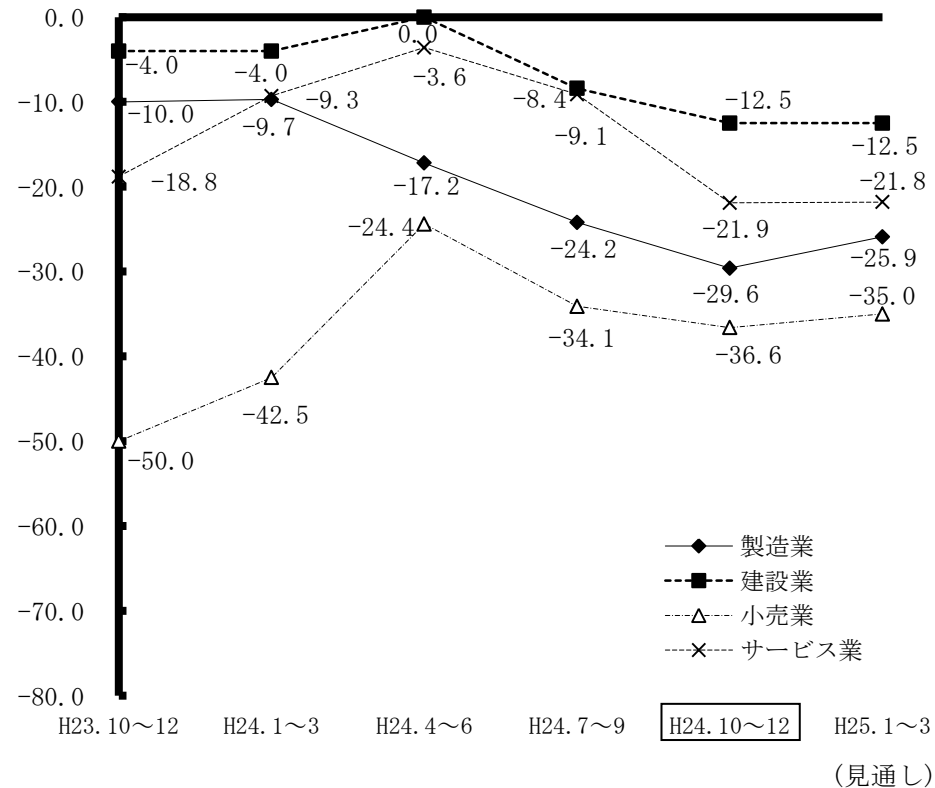
## 採算

今期は、全産業とも依然マイナス基調で推移しており、サービス業が12.8ポイント低下の△21.9となりました。

また、製造業、小売業、サービス業の3業種でも、マイナス幅が拡大する結果となりました。

来期は、製造業で3.7ポイント上昇の△25.9となり、改善の兆しが見られるものの、他の3業種においては横ばいの見通しです。

※採算は各業種とも経常利益

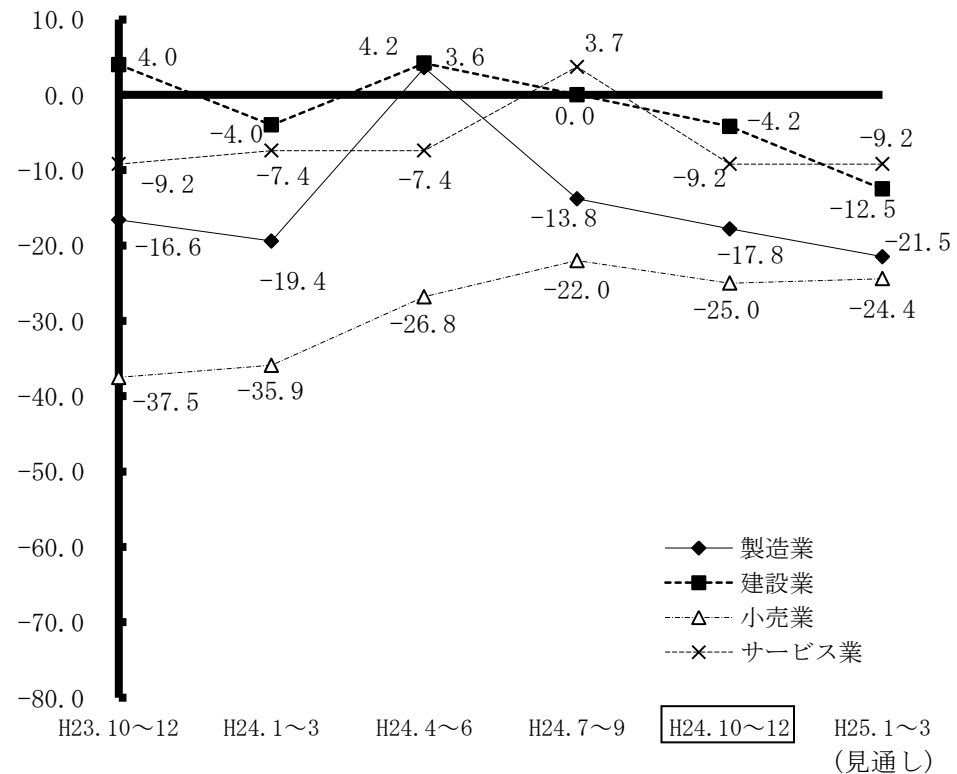


# 全産業の推移

## 資金繰り

今期は、全産業とも資金繰りが悪化し、特にサービス業では、12.9ポイント低下の△9.2となるほか、建設業では、△4.2とマイナスに転じました。

来期は、サービス業及び小売業が横ばいで推移すると予想されますが、建設業がさらに8.3ポイント低下の△12.5と見込まれるほか、製造業においても悪化する見通しです。



# 製造業の推移

## 売上高

<今 期>

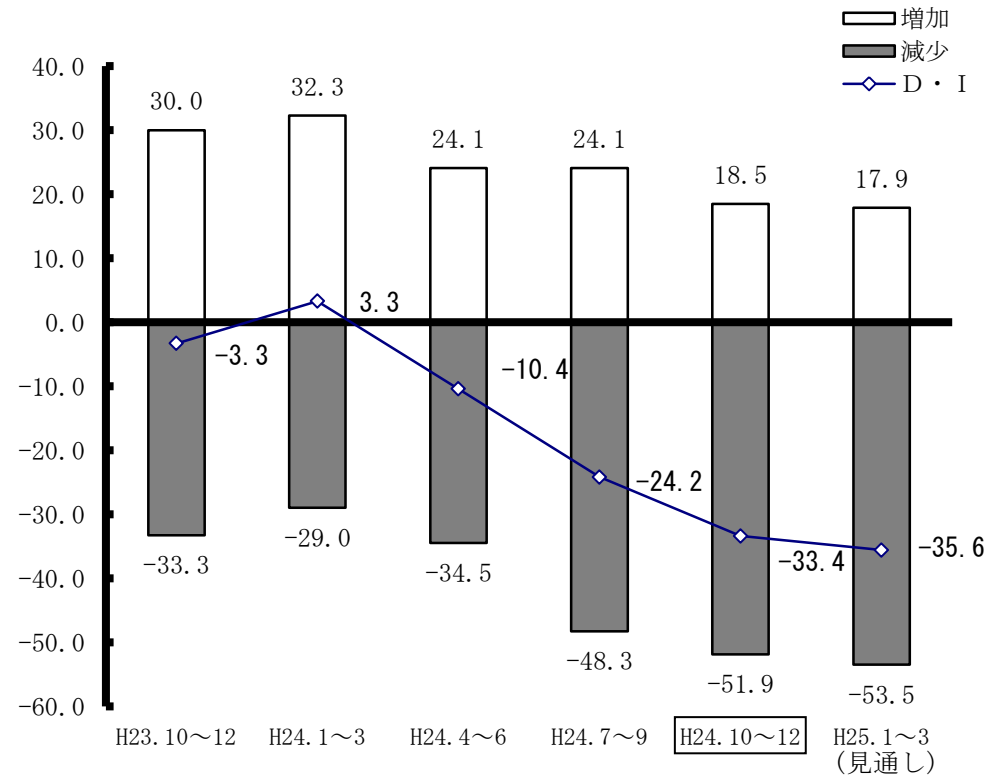


<来期見通し>



今期は、減少企業割合の上昇と増加企業割合の低下が相まって、売上高D・Iは引き続き9.2ポイント低下となり、△33.4となりました。

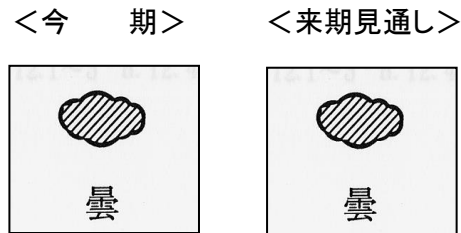
来期は、さらに売上高の増加を予想する企業が低下するほか、減少を予想する企業の割合も下げ止まらず、売上高D・Iは、マイナス幅を下げ、△35.6と予想されています。





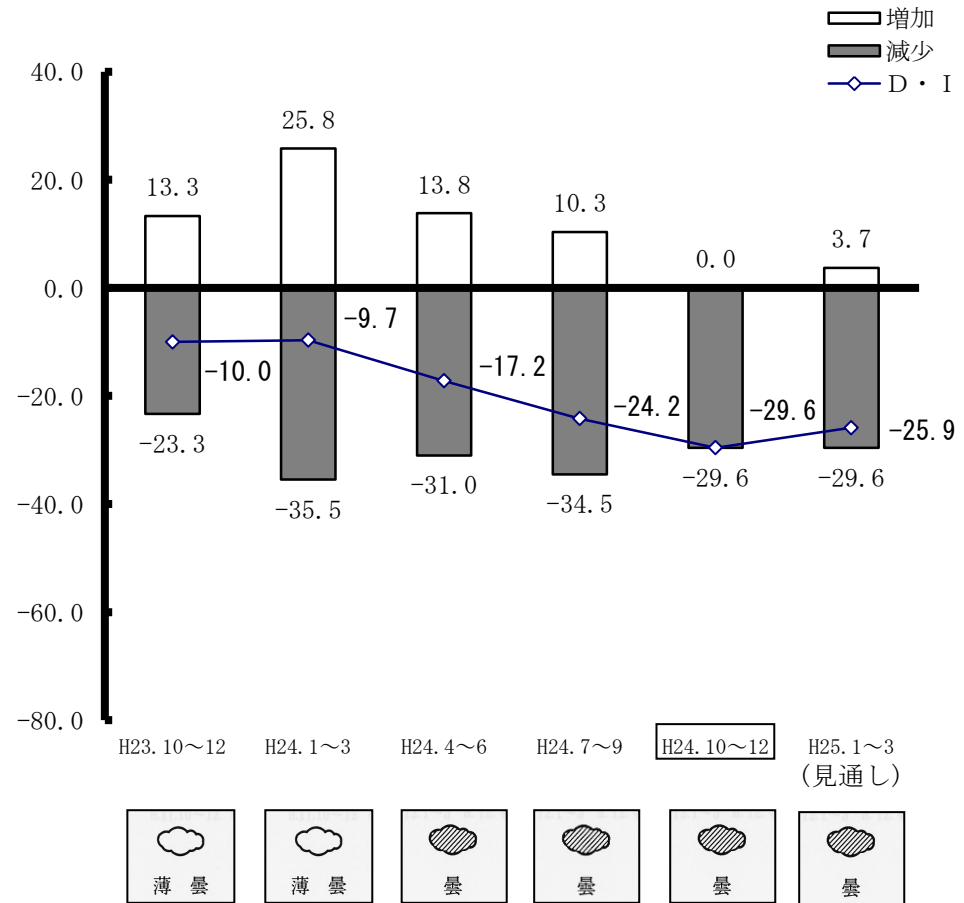
# 製造業の推移

## 採算



今期は、前期に比べ採算の悪化を挙げた企業の割合が減少しましたが、採算が増加した企業の割合が大幅に低下したことにより、採算D・Iは低下し、△29.6となりました。

来期は、採算が減少する企業の割合が前期と同水準で推移するものの、採算の好転を予想する企業が回復する見通しであり、採算D・Iは△25.9となり、若干の回復が見られる模様です。

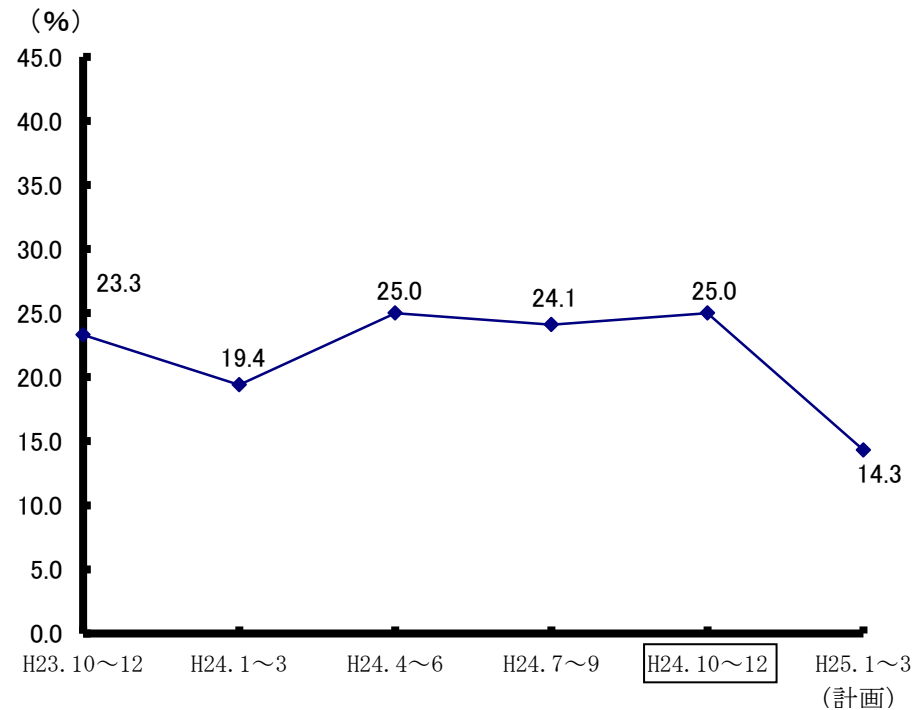


## 設備投資

今期見通しでは、設備投資を行う企業は若干増加し、25.0%となり、堅調に推移しました。

来期は、設備投資を計画している企業の割合は大幅に減少し、14.3%の企業で設備投資が行われる見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



# 製造業の推移

## 経営上の問題点

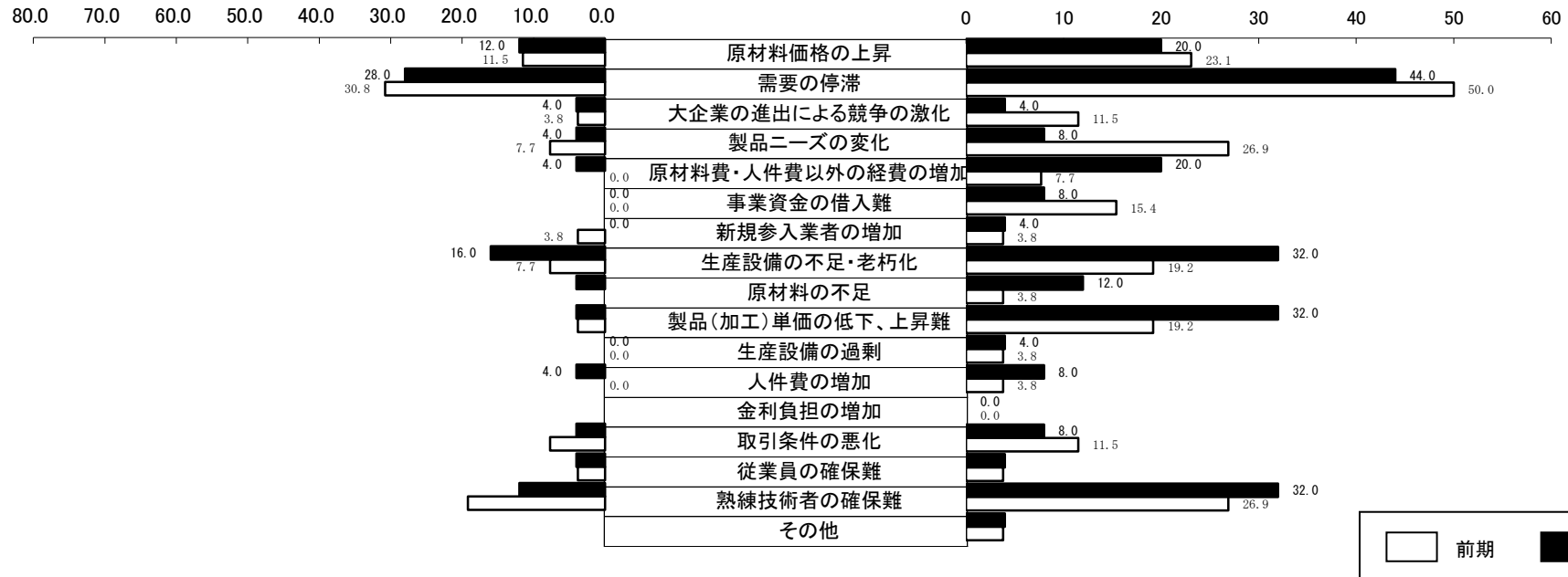
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛:%)



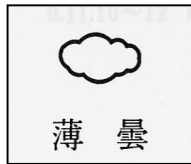
# 建設業の推移

## 売上高

<今 期>

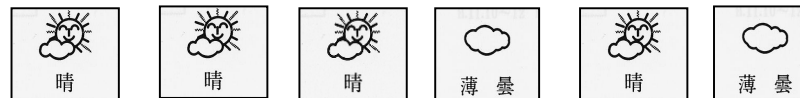
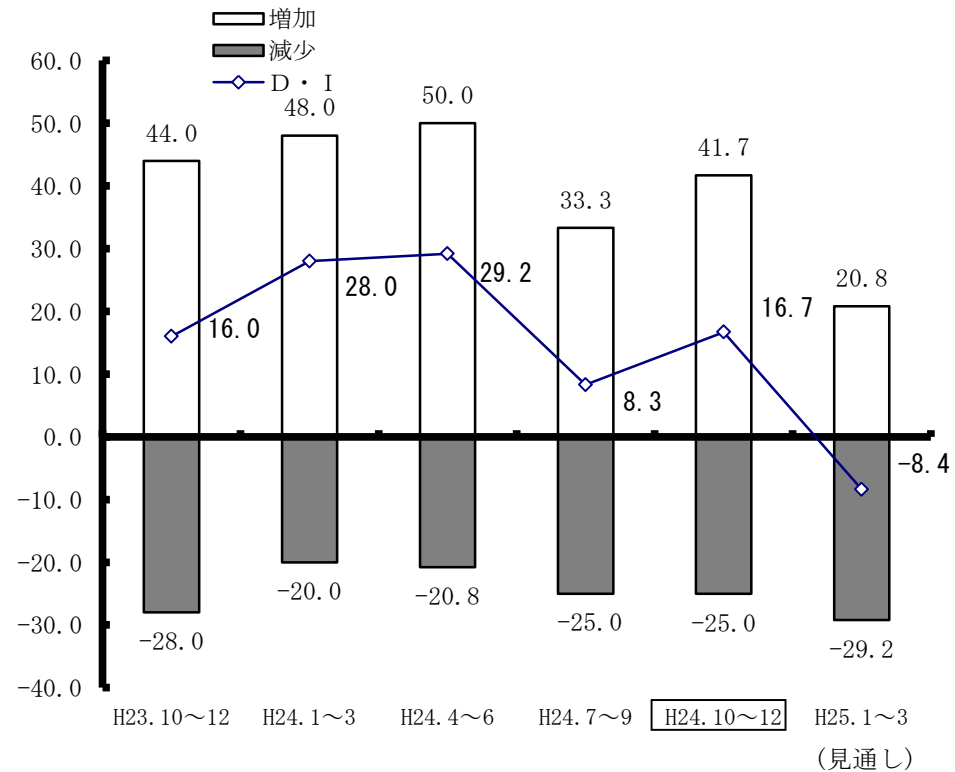


<来期見通し>



今期は、前期に大幅にポイントを下げた建設業が昨年同期の水準に回復し、16.7となり高い水準に持ち直しました。

来期は、売上高増加を予想する企業割合と、売上高減少を予想する企業割合がともに低下することで、売上高D・Iは大幅に低下し、マイナスに転じる見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

# 建設業の推移

## 採算

<今 期>

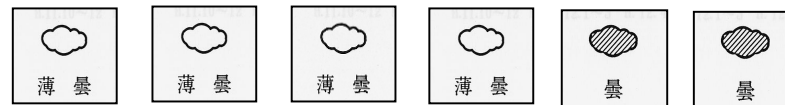
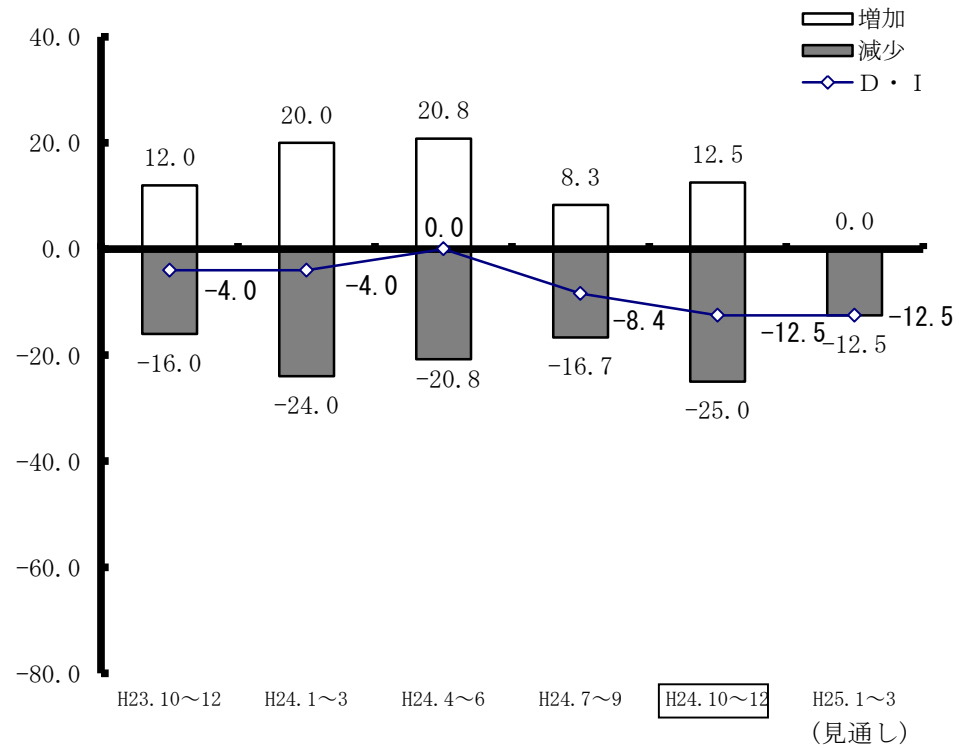


<来期見通し>



今期の採算D・Iは、採算好転企業が増加したものの、採算悪化企業の増加に歯止めがかからず、△12.5となりました。

来期は、採算悪化すると予想する企業が減少するものの、好転を予想する企業の減少幅が大きく、採算D・Iは同水準で推移する見通しです。



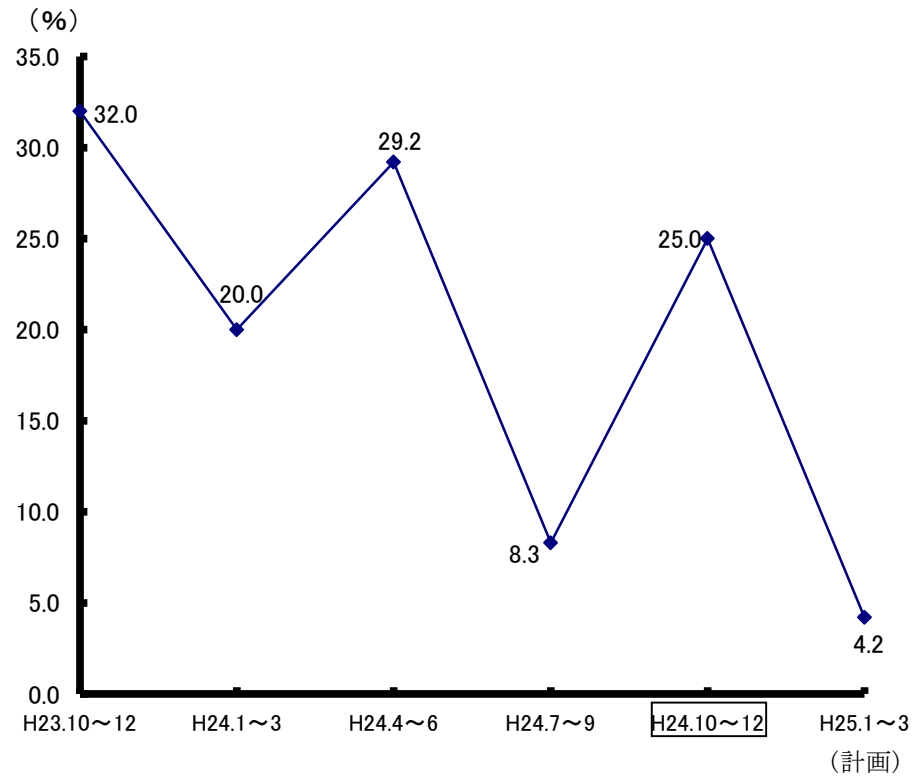
# 建設業の推移

## 設備投資

前期見通しでは、設備投資を実施する企業は12.5%まで回復すると予想されていましたが、実際はさらに、25.0%の高水準で推移しました。

来期は、設備投資を予定する企業は減少に転じ、4.2%まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

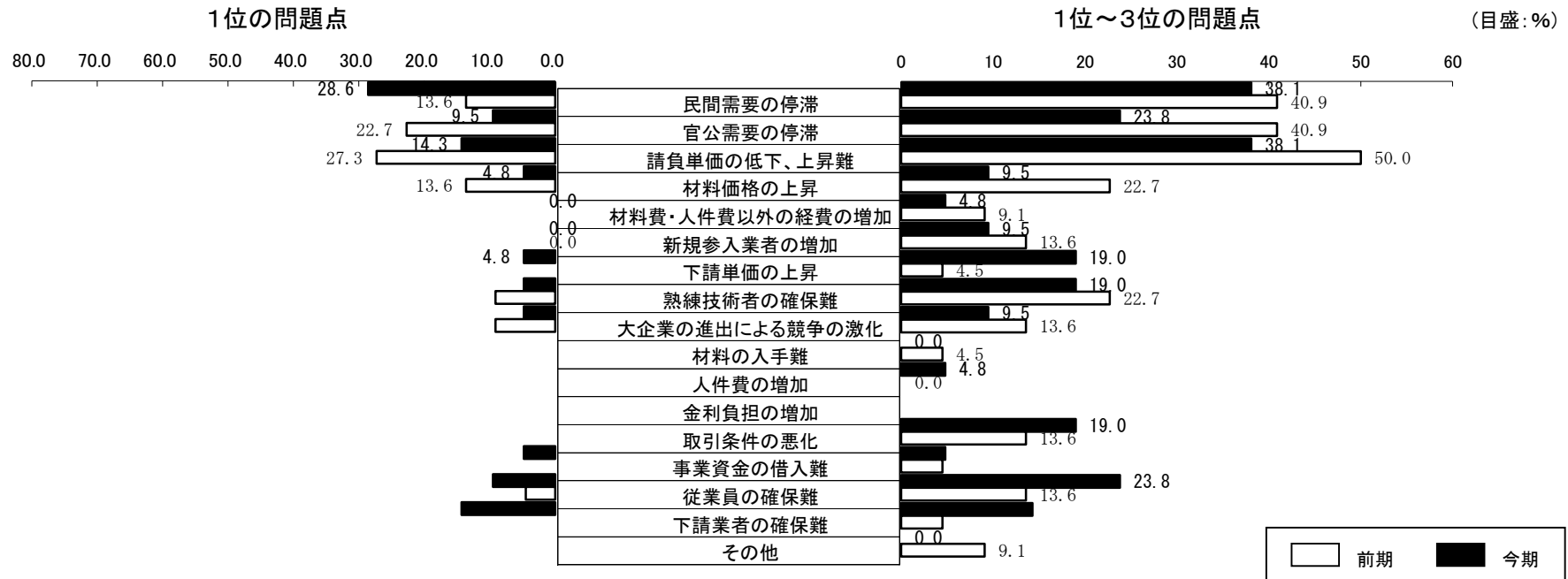


# 建設業の推移

## 経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



# 小売業の推移

## 売上高

<今 期>

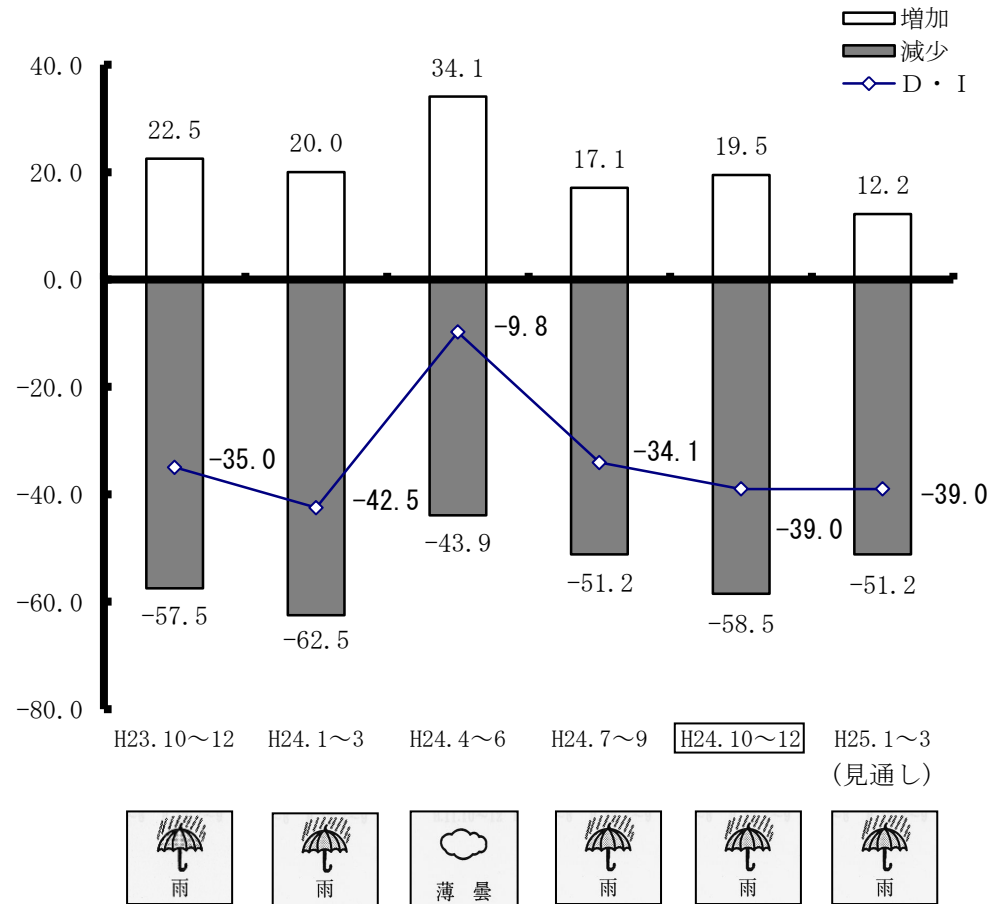


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業が2.4ポイント増加しましたが、売上高減少企業が7.3ポイント低下したことにより、マイナス幅が4.9ポイント縮小し、△39.0となり、業況天気図も依然雨で推移しました。

来期は、売上高増加予想企業及び売上高減少企業ともに低下するため、売上高D・Iは、今期の水準を維持する見通しです。





# 小 売 業 の 推 移

## 採 算

<今 期>

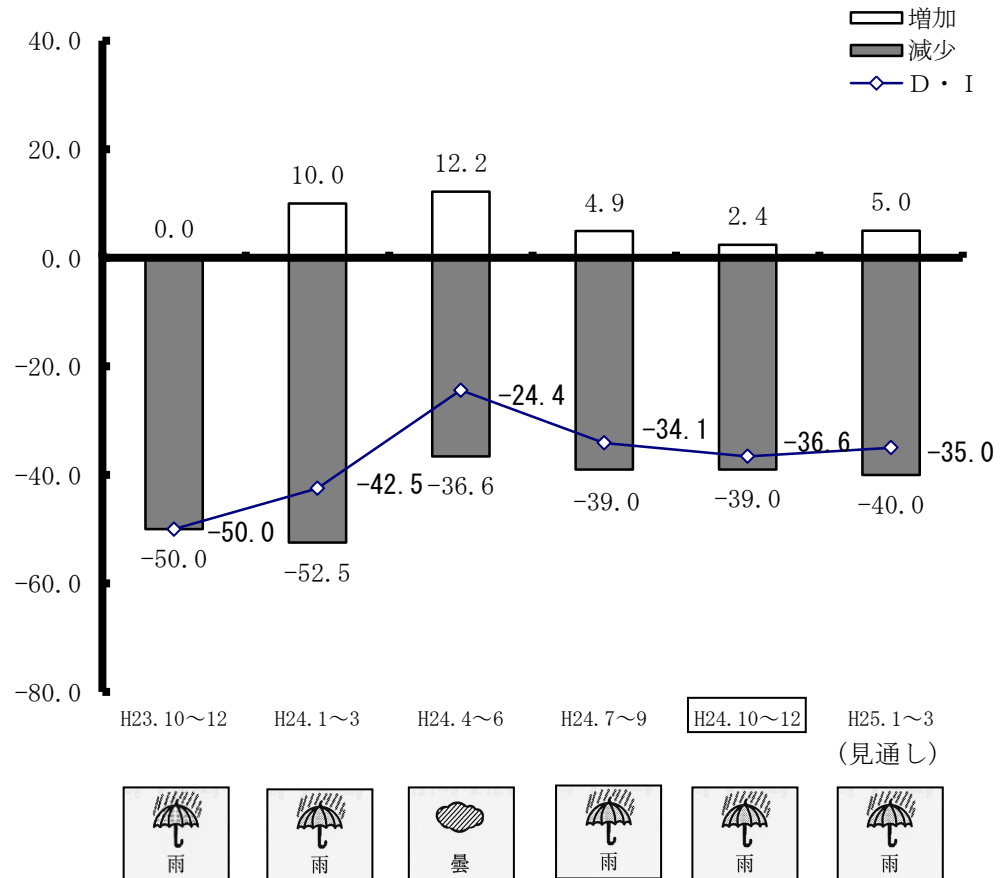


<来期見通し>



前期見通しでは、低いレベルでの横ばいが予想されていた通り、マイナス幅は2.5ポイント減少の△36.6となり、業況天気図も依然雨のまま推移しています。

来期は、採算悪化企業が増えることが予想されますが、採算好転企業が増加傾向にあり、採算D・Iが若干回復する見込みです。

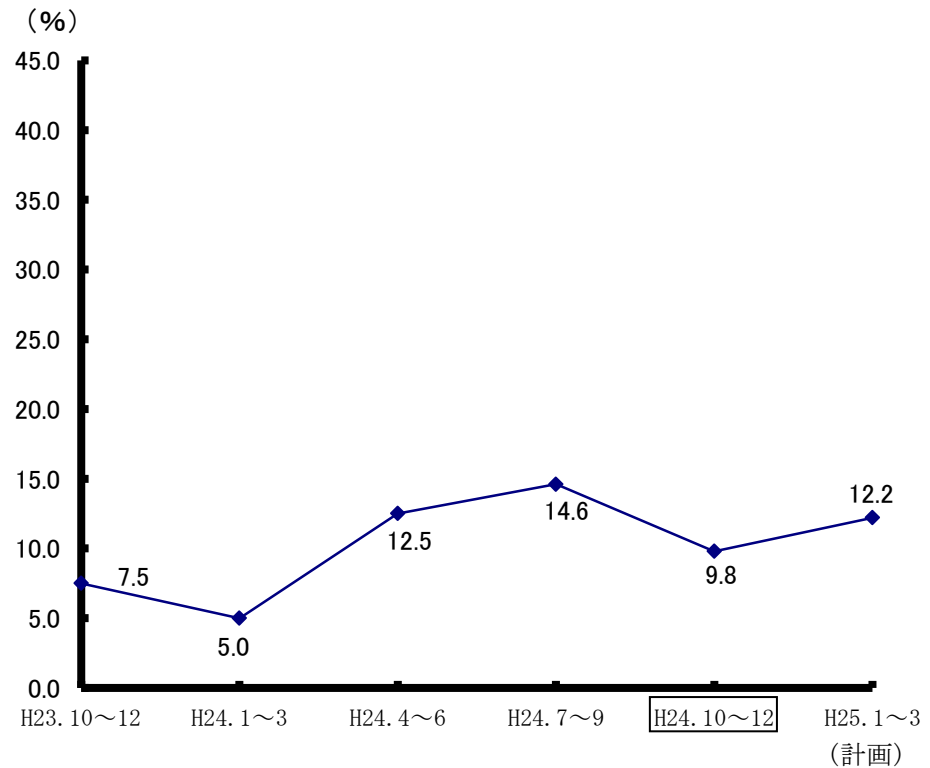


## 設 備 投 資

前期見通しの通り、実際に設備投資が実施した企業は、9.8%にとどまり、回復基調に水を差しました。

来期は、設備投資を計画している企業が増加し、12.2%まで上昇する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

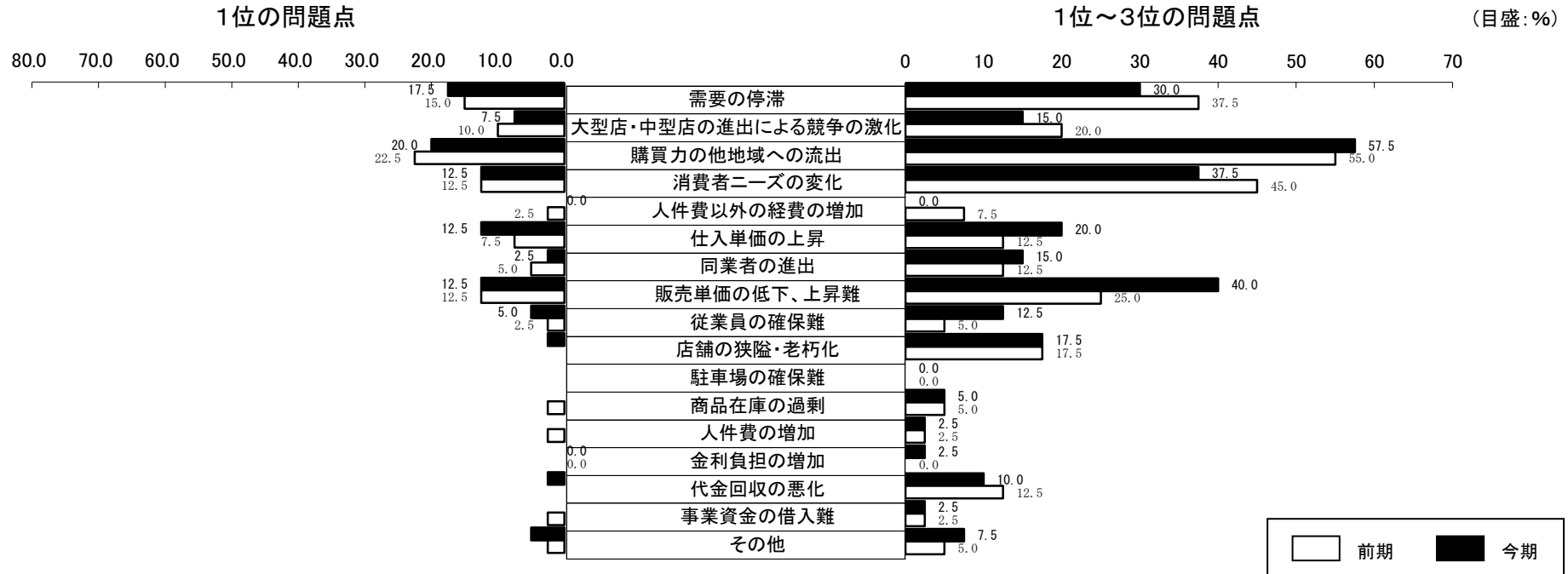


# 小売業の推移

## 経営上の問題点

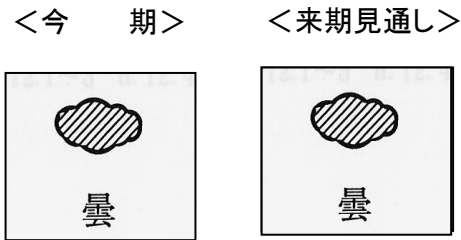
岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



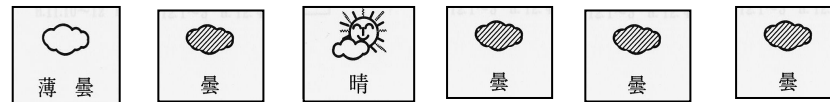
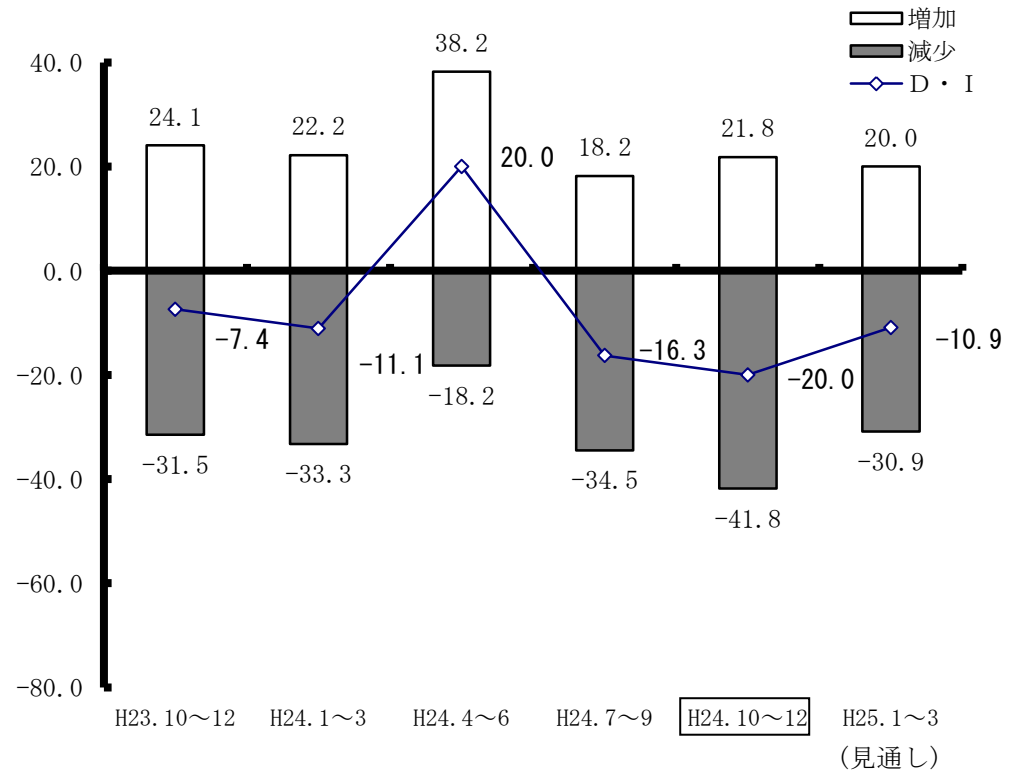
# サービス業の推移

## 売上高



今期は、売上高増加企業がやや増加したものの、売上高減少企業の増加によって、売上高D・Iは、△20.0となりましたが、減少幅は縮小し下げ止まりつつあります。

来期は、売上高減少を予想する企業割合が減少する結果、売上高D・Iは9.1ポイント上昇の△10.9となり、回復が見込まれる見通しです。



# サービス業の推移

## 採算

<今 期>

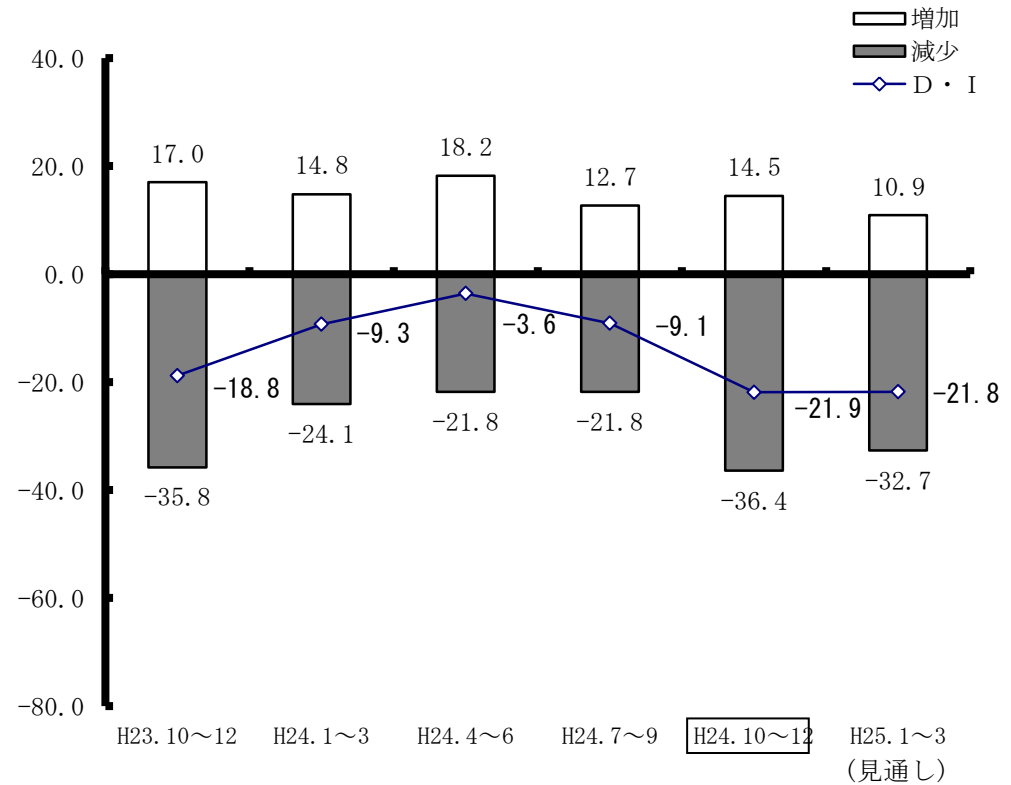


<来期見通し>



今期は、採算増加企業が増加しましたが、採算悪化企業が大幅に増加したことから、12.8ポイント減少の△21.9となり、マイナス幅が拡大しました。

来期は、採算の好転を予想する企業は低下しますが、採算悪化企業も減少することが予想されますので、同水準で推移する見通しです。

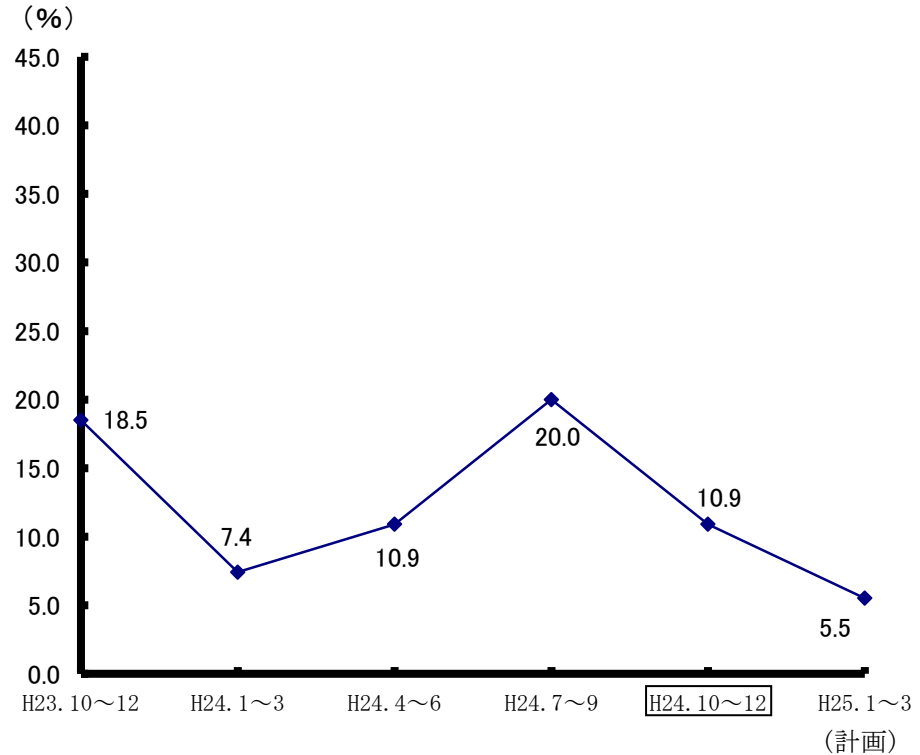


## 設備投資

前期見通しでは、設備投資実施企業は7.3%に減少すると予想されていましたが、実際は、10.9%まで減少しました。

来期は、さらに設備投資を実施する企業が減少し、5.5%の水準まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



# サービス業の推移

## 経営上の問題点

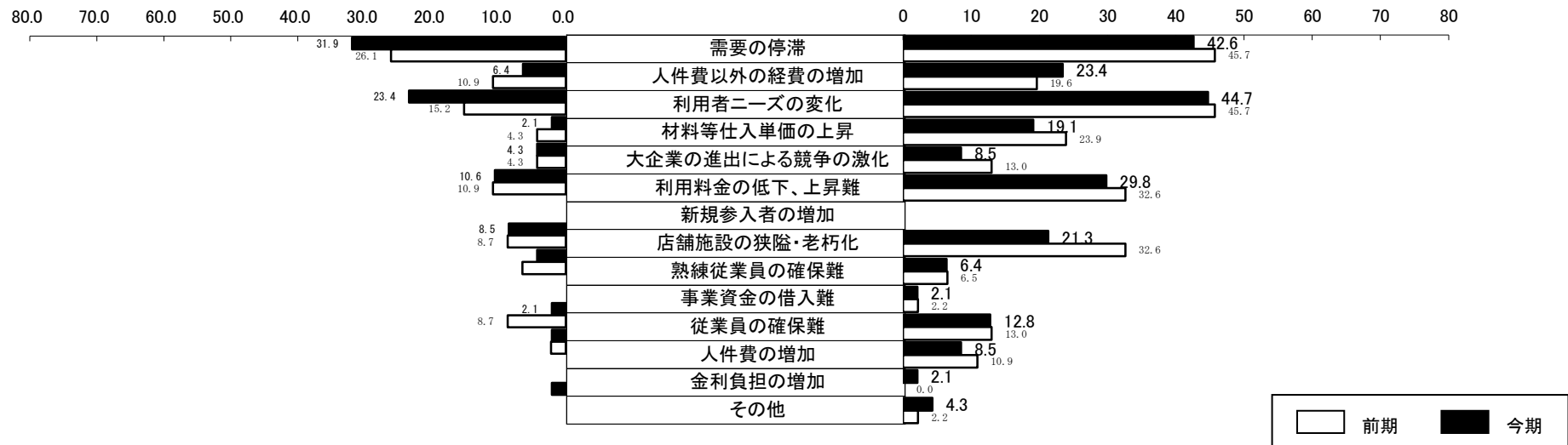
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

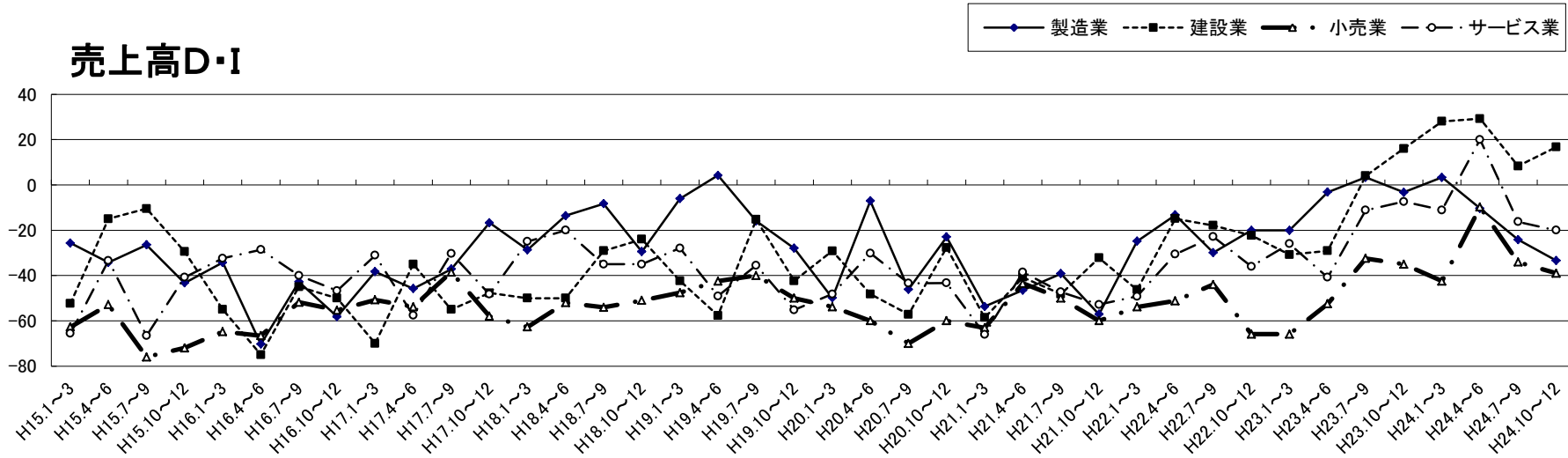
1位~3位の問題点

(目盛: %)

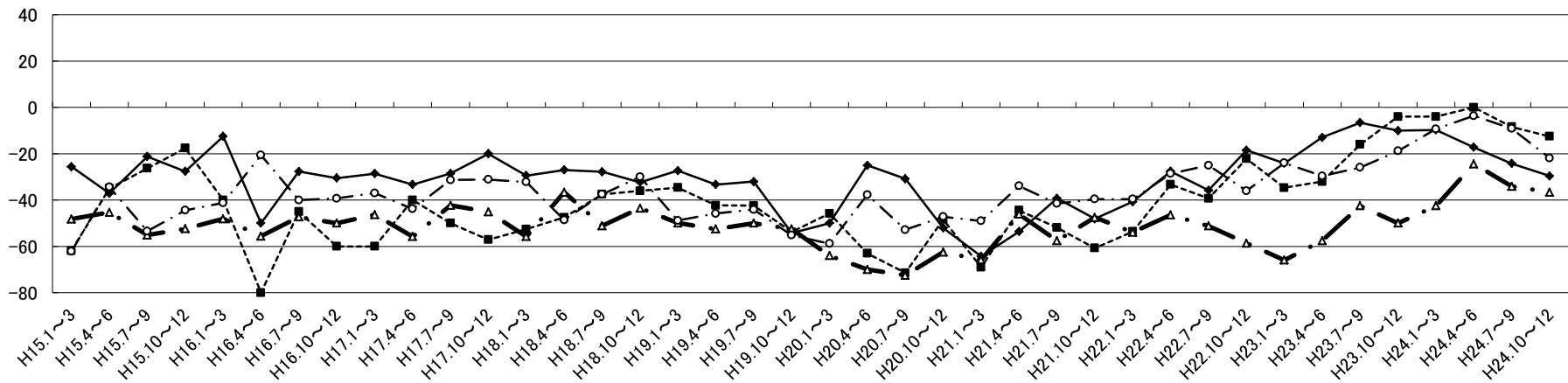


# 全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

## 売上高D・I



## 採算D・I





# 集 計 資 料

# 調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、葛巻町、紫波町、西和賀、金ヶ崎町  
(商工会名) 平泉、田野畑村、普代、洋野町、一戸町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 149 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成24年10月～12月を対象とし、調査時点は平成24年11月15日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。  
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

## 4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 ( % )
製造業 (地域産業)		29 ( 19.3 )	29 ( 19.5 )	100.0
建設業		24 ( 16.0 )	24 ( 16.1 )	100.0
小売業		42 ( 28.0 )	41 ( 27.5 )	97.6
サービス業		55 ( 36.7 )	55 ( 36.9 )	100.0
		150 ( 100.0 )	149 ( 100.0 )	99.3

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。